

スタッフコラム

葬儀とは、いつ何時に起こることなのか、わかることではありません。突然訪れた別れに、ご当家は戸惑い、哀しみ、いつもの精神状態ではないと思います。葬儀は1日~2日と短い期間の中で執り行います。短い期間で決めなければならない事や準備に追われる中、喪主は遺族の代表として葬儀を執り行います。

喪主をされる方で一番不安に思うであろう事の一つとして、ご葬儀時、出棺前の最後の挨拶がまず挙がるのではないのでしょうか？何を喋れば良いのか分からない…。大勢の人の前で喋るのは苦手…などなど…。私も人前で喋るのは苦手なのでその気持ちは痛い程分かります。喪主を何度も経験されて、慣れている方はいないと思います。

難しい言葉を使おう、うまく言おう、感動する挨拶にしようと思ふ必要はありません。会葬に来られる方は、故人様と親しかった友人、近所の方、職場の方等と、今まで故人様と何かしらの縁がありその人生の助けとなった方々です。故人様が生前お世話になったことへの感謝の気持ちを伝えることが一番大切だと思います。

迷われた方の為に挨拶の例文もご準備しております。例文に、故人様のお人柄、生前のエピソード等を加える、エピソードはドリーマーが作成するオリジナル会葬礼状の文面を参考にしてもよいと思います。特に暗記せずに見ながら読んで頂いても全く問題ありませんので安心して下さい。

どうしても慣れない事ばかりかと思いますが、喪主をされて気になる事や不安に思う事があれば些細な事でもかまいません。我々葬儀の担当者やスタッフにご相談下さい。喪主様の不安を少しでも和らげる事ができるよう、スタッフ一同サポートして参りたいと思います。



加地 敦史

あとがき

先日会館に一本の電話がかかってきました。まほろばを毎月読んでいること、3月号の記事の内容や言葉選びがいつも以上に良かったよ、とお声でした。

あたたかいお言葉をありがとうございます。皆様に支えられているなど実感した出来事でした。これまで以上に、皆様にひと時の楽しみを感じていただけるような「まほろば」をお届けできるようスタッフ一同邁進してまいります。



出口 秀美

まほろば休刊のお知らせ

いつも「まほろば」をご愛読いただき、誠にありがとうございます。
「まほろば」2020年5月号~7月号を誠に勝手ながら休刊させて頂きます。
ご愛読いただいている皆様には、突然のご案内をお詫び申し上げます。
ご理解のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ
資料請求

フリーダイヤル
0120-44-5880

お急ぎの方は
電話にて
対応いたします。

365日24時間対応しております。
【通話無料】携帯電話でもつながります。
ドリーマーご自宅出張
無料事前相談実施中!!

◆ドリーマーではご葬儀前に必ず全体的にお見積もりをお客様に提示しております。
◆ご予算に合わない場合は、予算に合わせて内容の変更が可能です。
◆後で想定外の費用が発生する事はございません。

葬儀費用
の
ポイント

葬儀の現場から ~家族葬だからこそ~

ここ数年で「家族葬」という言葉も定着し、葬儀は遺族親族だけで執り行うか、一般の方を呼んでもごくごく親しい数名のみの参列ということも多くなってきました。訃報を知らせる自治会の放送や新聞のお悔やみ欄の掲載も少なくなり、こしはばく姿が見えないと思っていたら亡くなっていて、と後から知ることも増えています。

先日、ドリーマーでご主人を見送られたAさんは、以前から、地域の親しい友人や趣味仲間がいつのまにか亡くなっていたことを知るたびに、寂しさを感じていました。家族葬で参列はできなくても、亡くなったことを知ることで、心を通わせたその人を偲ぶことができる。そこでAさんは、自治会の訃報連絡に、ご主人の葬儀の日程と共に「家族葬で執り行うこと」を付け加えて放送してもらったそうです。葬儀が終わった翌日、Aさんが家の前を掃除していると、ご近所の方が寄って来られ「知らせてくれてありがとう」と声をかけられたそうです。そのあとも何人もの方に同じように声をかけられ、寂しさを感じていたのは自分だけではないのだとわかり、心が癒されたそうです。

逝く背を見送る遺族の立場となった時「どこまで知らせるか」の判断は人それぞれです。故人を慕う気持ちを同じくする方と共に偲ぶことで、やがては悲しみを昇華し明日からまた前を向いて生きていく勇気が湧いてくるのだと思います。



白石 弥生

はなだより ~ドライフラワー~

お花を飾るのは、可愛くて、いい香りがして、とても素敵な気分になりますが、生花は生き物であり寿命があります。お気に入りのお花が枯れてしまい、残念な気持ちになりながら処分したことのある方は少なからずいらっしゃると思います。今回、お気に入りのお花をいつまでも綺麗に保つ方法として、ドライフラワーの作り方をご紹介いたします。

◎ドライフラワーの作り方◎

ハンギング法(自然乾燥法)：吊るしてドライにする方法。

ドライインウォーター法：お花を少量の水に挿し、少しずつ蒸発させていく事でお花の水を抜いていく方法。

シリカゲル法：花首2cm程下でお花をカットし、タッパーやガラス瓶などの密閉容器に1cm程ドライフラワー用シリカゲルを敷き詰め、その上にお花を置く。

グリセリン法：グリセリン溶液を使って花材をドライにする方法。グリセリンに浸ける方法とお花にグリセリンを吸い上げさせる方法がある。

◎生花をドライフラワーにするのに最適なタイミング◎

蕾が完全に開いたその日

→蕾の状態では水分が抜けにくく、乾燥に時間がかかるため、色が悪くなる。

お花を楽しんだ後でも、傷みや早く、色が悪くなる。



◎ドライフラワーを楽しむ期間◎

空気に触れる状態：半年~1年

密閉状態：数年以上

◎ドライフラワーに向かない花◎

水分が多い花(百合、カラー、多肉植物、椿など)

→乾燥に時間がかかる為、乾燥完了までに花の色が悪くなりやすい。

小さな花(オオイヌノフグリ、勿忘草など)

→乾燥させるとさらに小さくなり、花が目立たなくなる。



近年の流行になっているドライフラワーをいただいたお花などで、簡単に綺麗に作ってみてはいかがでしょうか。フラワースペースデザイン部